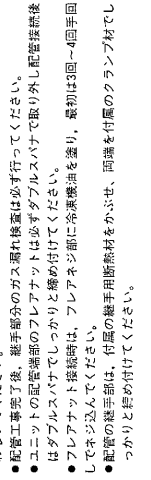


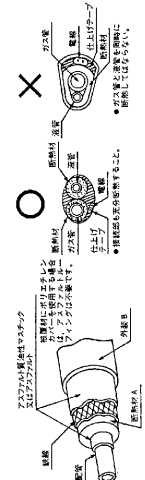
3. 冷媒配管

- 配管は下記材質のものをご使用ください。
 - 室内ユニット
 - 形名 MDC-80TA
 - 液種名 R410A
 - 外径 φ15.88×11.0mm
 - 内径 φ9.52×10.8mm
 - MDC-145TA
 - 液種名 R410A
 - 外径 φ19.05×11.0mm
 - 内径 φ12.7×10.9mm
- (材質) リン酸銅銀製自由屈管管種(G1220T-OL)
 ●ガス配管は、液相配管とも断熱は完全にしてください。(下図を参考にしてください。)
- 金継ぎ室外ユニットに赤で示されています。
 ●配管の曲げはできる限り大きい半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
- 配管工事完了後、継手部分のガス漏れ検査は必ず行ってください。
- ユニットの配管端部のフレアナットは必ずダブルスパンで取り外し配管接続後にはダブルスパンでしっかりと締め付けてください。
 - フレアナット締め時は、フレアネジ部に冷媒油を塗り、最初は3回〜4回手回しで緩んでください。
 - 配管の継手部は、付属の継手用断熱材をかませ、両端を付属のクランプ材でしっかりと締め付けてください。

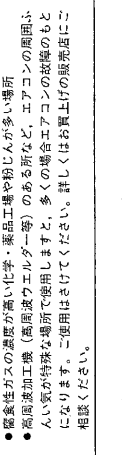


断熱工事要領

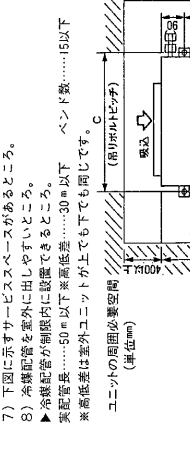
- 断熱材の取付方法は、必ず下図のとおりに行ってください。
- 断熱材の取付は、必ず下図のとおりに行ってください。
- 断熱材の取付は、必ず下図のとおりに行ってください。
- 断熱材の取付は、必ず下図のとおりに行ってください。
- 断熱材の取付は、必ず下図のとおりに行ってください。



- ふんいきが特殊な場所では使用しない
- 壁紙の多い所
- 海浜地区等塩分の多い所
- 湿気の多い場所
- 温泉地帯
- 硫化ガス、揮発性ガス、可燃性ガス、可燃性物などがある場所
- 腐食性ガスの濃度が高い化学・薬品工場や粉じんが多い場所
- 高圧送電線(高圧電線)がある所など、エアコンの周りに強い電磁界がある場所を使用しないでください。
- エアコンの故障の原因になります。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。



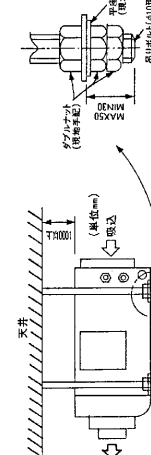
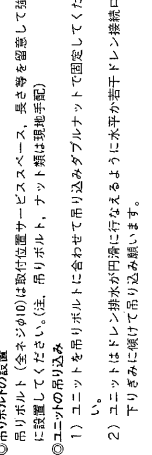
1. 室内ユニットの据付け場所の選定サービスペース
- 1) 搬入経路を決定してください。
 - 2) 室内ユニットの据付け位置を決定してください。
 - 3) 風の影響を受けられないこと。
 - 4) 風通りに障害物がないこと。
 - 5) 重量に耐える強度のあること。
 - 6) 高温多湿及び熱風のこもる場所から離れたこと。
 - 7) 下に示すサービスペースがあること。
 - 8) 冷媒配管を室外に出しやすきこと。
 - 9) 冷媒配管が室外に設置できること。
- ※配管長…50m以下 ※高さ差…30m以下 ※バンド数…15以下
 ※高さ差は室外ユニットが上でも下でも同じです。



| 形名 | A | B | C |
|-----------|-----|-----|-----|
| MDC-80TA | 670 | 560 | 730 |
| MDC-145TA | 820 | 560 | 880 |

2. 室内ユニットの据付け

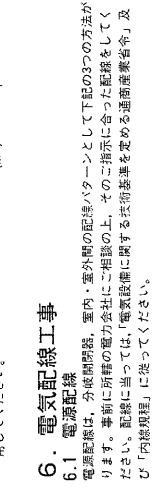
- 1) 室内ユニットは据付け場所まで端のまま搬入してください。
- 2) 室内ユニット本体は下記手順で据付けてください。



- 吊り戸钩の設置
 吊り戸钩(金ネジφ10)は据付け場所まで端のまま搬入してください。吊り戸钩、ナット類は現地手配に設置してください。(注、吊り戸钩、ナット類は現地手配)
- ユニットの吊り込み
 1) ユニットの吊りボルトに合わせ吊り込みダブルナットで固定してください
- 2) ユニットのドレン排水が円滑に行なえるように水平が若干ドレン接続口を下り向きに傾けて吊り込みます。
- 床置架台据付の場合
 ●台枠は本体重量に充分耐える構造としてください。
 ●本体の据付け
 1) 台枠の本体側面部に防振パットを敷いた後、ユニット本体を設置してください。
 2) ユニットの水平であることを確認してください。

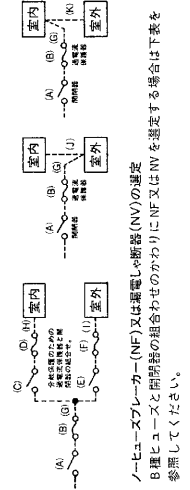
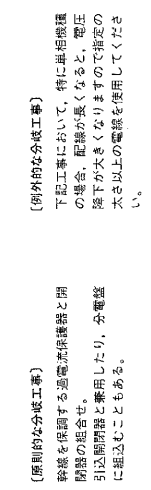
5. リモコンの取付(付属品)

1. リモコンは、壁、柱等に取付けてください。(4ネジ2本現地手配)
2. 取り付けに十分な場合は、埋込取付用スイッチボックス(カバー付)(JIS規格品)を利用してください。



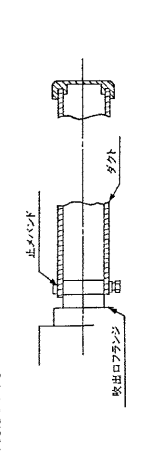
6. 電気配線工事

- 6.1 電源配線
 電源配線は、分岐回路、室内・室外側の配線パターンとして下記の3つの方法があります。事前に所轄の電力会社に相談の上、そのご指示に合った配線をしてください。配線に当たっては「電気設備に関する技術基準を定める省令第5条」及び「内線規程」に従ってください。
- (原則的な分岐工事)
 下記工事において、特に単相機器の場合、配線が直ぐなると、電圧降下が大きくなる場合がありますので指定のケーブルを使用してください。



7. ダクトの施工

- ①本機には必ず別売の延長ダクトを使用してください。
 ダクトは吹出フランジにはメパントを用いて取付けてください。
 ダクトをフランジに差し込み、ダクト口をフランジにピッタリ合うよう調整してから取付け願います。なおダクト口は先ずは左側に回転させることにより変化します。



- ②ダクトを取付ける際、吹出フランジに力が加からないようにしてください。
- ③ダクトは、距離あるいは長さに応じて固定してください。
- ④ダクトへの取付けの際は、ダクト周囲に断熱材を敷き込んでください。
- ⑤ダクト長さは制限がありますので注意してください。(ダクト長さはテクニカル・マニュアルを参照するか、あるいはお買上げ店にご相談ください。)

8. 試運転の前に

1. ユニットの据付、冷媒配管、ドレン配管、配線作業終了後、冷蔵室、冷凍室、製氷室の扉、密閉確認を行い、室温を測定してください。
 2. 電源端子盤と大地間を800Vメーターで計った1.0MΩ未満の場合は運転させないでください。
 3. 試運転の直前の時間中に電源を投入してください。
- 注：制御用端子盤(⑧、⑨、⑩、⑪)には絶対にかけないでください。
 電源投入により圧縮機が起動し、圧縮機が回ると圧縮機が停止します。(通常動作時間中に電源を投入してください。)
4. 付属の取扱い説明書を良く読んで、配線を確認してください。
 5. 送風機が正常方向に回転していることを確認してください。

9. 試運転が完了したら

- 試運転が完了したら取扱い説明書とともに、必ずお客様におましくください。
- この据付け説明書を取扱説明書とともに、必ずお客様におましくください。

6.2 室内・外制御配線, リモコン配線

- 室内・外制御配線, リモコン配線は200V仕様です。
- 室内・外制御配線, リモコン配線は必ず標準通り接続してください。
- 第三種接地工事を必ず行なってください。

